

## 障害物撤去及び緊急物資輸送訓練（7／24）実施

1. 訓練実施日： 平成25年7月24日（水） 13:00～16:00
2. 訓練参加人数： 約150名（訓練参加・観覧）
3. 参加機関：  
川崎市、大田区、陸上自衛隊、川崎海上保安署、川崎臨港警察署、横浜水上警察署、川崎市臨港消防署、（社）日本埋立浚渫協会関東支部、川崎港運協会、国土交通省京浜河川事務所・昭和記念公園事務所、関東運輸局、（独）海上災害防止センター
4. 今回の訓練で検証された主な項目：
  - ①（大田区）多摩川二丁目緊急用船着き場まで小型船+台船での物資輸送が可能であること
  - ②大型クレーンでフェンス越しに4.5m岸壁側から人工海浜舟運岸壁の台船に荷役が可能であること。
  - ③関東地方整備局のヘリコプター「あおぞら号」による東扇島防災拠点へのヘリテレ伝送が支障なくできること
5. 当日の訓練状況



31号岸壁前面海底からの障害物撤去



投光器を空輸する自衛隊大型ヘリ



多摩川二丁目緊急用船着き場での荷揚げ



ヘリテレ伝送を行った「あおぞら」

※マスコミ取材： NHK、テレビ神奈川、港湾新聞、港湾空港タイムズ、建通新聞社、日刊建設通信新聞社、物流ニッポン新聞社



～多摩川河川敷会場～



陸上自衛隊「CH-47チヌーク」



—資機材航空輸送訓練—

陸上自衛隊(第31普通科連隊・第1ヘリコプター団)による輸送訓練を実施。東扇島から投光器(2台)を航空輸送した。



多摩川河川敷・臨時河川敷ヘリポート(東京都大田区)

# 平成25年7月24日 障害物撤去及び緊急物資輸送訓練

首都直下地震発生時(東京湾北部地震)において、周辺の港湾施設を活用し、緊急輸送活動に係わる関係機関との連携を強化、防災拠点を中心とした広域オペレーションを実施するための運営体制の確立、緊急輸送対応力の向上を図ることを目的として行われた。

—緊急物資輸送訓練—

多摩川を水上輸送し、多摩川二丁目緊急船着場にて物資を荷上げ、その後、緊急河川敷道路を走行して「世田谷市場」まで物資を陸上輸送した。

東扇島舟運岸壁を出港

横浜水上警察署の警備艇「あしがら」による先導が行われた。



多摩川二丁目緊急船着場(東京都大田区)



関東運輸局と大田区役所が緊急物資を確認し、川崎港運協회가世田谷市場まで陸上輸送した。



# 国土交通省関東地方整備局

—水難救助・救急搬送訓練—

—無線情報伝達訓練—

—資機材航空輸送訓練—



川崎市消防局航空隊「そよかぜ1」

川崎市消防局航空隊による水難者救助及び救急病院(有明の丘)への緊急搬送訓練を実施。



海上災害防止センター「風神」

多摩川河口付近の漂流物の有無を調査するためエアポートを出勤させ無線での情報伝達訓練を実施。



陸上自衛隊「CH-47チヌーク」

陸上自衛隊(第31普通科連隊・第1ヘリコプター団)による輸送訓練を実施。多摩川二丁目緊急船着場まで投光器(2台)を航空輸送した。

## 平成25年7月24日 障害物撤去及び緊急物資輸送訓練 ～東扇島会場～

首都直下地震発生時(東京湾北部地震)において、周辺の港湾施設を活用し、緊急輸送活動に係わる関係機関との連携を強化、防災拠点を中心とした広域オペレーションを実施するための運営体制の確立、緊急輸送対応力の向上を図ることを目的として行われた。

—海底障害物撤去訓練—

—ヘリテレ伝送による画像収集訓練—



臨港消防署「水中探査装置」

海底障害物により耐震強化岸壁への船舶の接岸ができない状況を想定川崎市消防局・埋俊協会による海底障害物の調査及び撤去訓練を実施。



国土交通省関東地方整備局「あおぞら号」

多摩川沿いの施設の被災状況や漂流物の有無の画像情報をヘリテレ伝送する訓練を実施。